

第18回土岐市子ども・子育て会議 会議録

日時 令和3年2月19日（金）

午後3時30分～

会場 文化プラザ 3階 視聴覚室

【出席者】 山田 利彦 林 まこと 和田 裕海 福富 泰岳 加藤 隆浩
小栗 潔子 鷺見 政人 古宮山 綾乃 本多 直也
梅村 利明 水野 恵美子 近崎 奈保子 松崎 多恵子

【欠席者】 丹羽 麻実

（敬称略）

（事務局）

ただいまより第18回土岐市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。

配布資料確認

欠席委員報告

1 健康福祉部長あいさつ

本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども子育て会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また日頃から本市の子育て支援施策について、ご理解をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大が懸念される中ではございますが、前回会議の開催を見送ったところでございまして、本日の会議は感染防止対策を徹底して開催をさせていただきましたこと、ご理解をいただきますようよろしくお願い申し上げます。本日の会議でございすけれども、新しくご就任いただいた委員の皆様をお迎えして初めての会議でございす。ご承認をいただく案件のほか、いくつか報告事項がございすけれども、様々な視点からご意見いただきながら、円滑な会議の進行をお願いしたいと思っております。子育て支援事業の充実に向けて一層の力添えをお願い申し上げながら、ごあいさつとさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

2 委員及び事務局紹介

事務局より名簿にて紹介に代えさせていただく旨報告

3 会長・副会長の選任

（事務局）

現在の「第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画」の策定にリーダーシップを発揮していただいたこと、この計画の進捗の確認と評価を行う必要があることから、これまでの経緯を熟知しておられる前会長の山田利彦氏の会長継続を提案します。

⇒「異議なし」との声が挙がり、他の委員の拍手をもって会長を決定した。

(事務局)

副会長につきましては、これまで慣例的に幼稚園長会長にお願いをしてきましたので、本年度も同様をお願いしたいと思います。

⇒「異議なし」との声が挙がり、他の委員の拍手をもって幼稚園長会長である梅村利明氏に決定した。

4 会長あいさつ

皆さんそれぞれの団体の代表として会議に来ているということで「交流」ということも大事な会であると思います。それで、最後にお1人一言ずつ全体の感想や所属している団体の立場で、何か皆さんに伝えたいことがあったらお話いただきたいと考えておりますのでよろしく申し上げます。

5 第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画について

(山田会長)

それでは議題5第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

説明前に第2期土岐市子ども・子育て支援事業計画についての概要を説明。その後、(1)利用定員等の変更及び(2)量の見込みと確保方策の見直しについて資料2-1及び2-2の内容を説明。

(山田会長)

何か質問や意見はありますか。

⇒委員からの意見は無く、承認となった。

6 泉こども園の整備について

(山田会長)

次に議題6泉こども園の整備について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料3に基づき、泉こども園整備についての概要、進捗及び今後のスケジュールについての内容を説明。

(山田会長)

ただ今の説明について何かご意見などありますか。特に保育園関係の方々、ご意見ありましたらお願いします。

(福富委員)

車両のスペースについて、少し物足りないのではないかと思います。

(事務局)

今のいずみ保育園の定員は 98 名ですが、こども園化で 0 歳児、5 歳児を拡充し、定員は 123 名となります。こども園建設については規模が大きくなるものの、用地の確保が困難でした。このことは、いずみ保育園の園舎の耐震性がないことが発端で、この状態で長期にわたり園の運営が厳しいということがあり、この狭小地の中で何とか建物を配置し、園庭についても今までより広い面積を確保する必要があったので、この点に対して駐車台数について十分ではないということだと思います。このような状況ですが、運用していく中で縦列の駐車場は 20 台確保できるので、保護者にご協力いただいて、スムーズな出入りをする事でこの限られた台数での運営をさせていただきたいと思っております。

(山田会長)

実際に始まってから、色々と工夫することが出てくると思います。

(松崎委員)

建設中は駐車場がつぶれてしまうわけですが、どのように対応されますか。

(事務局)

建設中の駐車場について、資料図面の位置図には載っていませんが、井野川沿いを西に 100m 弱の所に職員用の駐車場があり、こちらの駐車場を利用してもらうことを想定しています。また「ゆのみの里」駐車場の使用許可も得たので、保護者に選択していただき、なるべく近く使いやすいところで車を停めてもらい、十分安全を確保した上での登園をお願いするという事を想定しております。

(山田会長)

雨の時など十分配慮していただけるとありがたい。

実際に工事を進める際に現場との調整や連絡等を進めていただきたいと思います。

7 市内児童館の統廃合について

(山田会長)

それでは議題 7 市内児童館の統廃合について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

第 2 期土岐市子ども・子育て支援事業計画で妻木児童館を廃止してその機能を西部児童センターで対応する方向性となっていることを説明。今年度末での妻木児童館廃止について説明。

(山田会長)

ただ今の説明について何かご質問やご意見などありますか。

⇒委員からの意見無し。

(山田会長)

児童館は、子供さんやお母さんたちが自由に来館されてそれぞれサークルや色々な行事等、公民館だよりも毎月情報が掲載されており、それぞれ希望する方が集まって活動されてい

ます。保育園と幼稚園とは違って毎日通うものではなく、必要な時に集まって、中には小学生も一緒になって活動している。

8 その他

(山田会長)

今日の議事と関わりがなくても団体等でやっていることや皆さんにお知らせすると良いと思われることなど、一言ずつ順番に伺っていきます。

(小宮山委員)

最近の子どもに関するニュースで無戸籍の児童問題とひとり親家庭の養育費の請求について子どもに権利がある、という2つの問題が気になっています。30年ぶりに300日規程や再婚禁止期間に関して民法が改正されるということで、養育費というのは子どもの権利であるということが民法に明記されるということで、明記されたからと言ってすぐに解決には結び付きませんが、少しずつでも良い方向に向かうと良いと思いました。

(事務局)

小宮山委員がおっしゃったように、ひとり親の養育費のことについては県から通知が来ています。無戸籍児童の原因として、離婚後すぐに生まれたお子さんが前の夫の戸籍に入ってしまうことを避けるために出生届を出さないということがありますが、やはりDV等の関係で起きているということもあり、その辺りのことは承知しています。養育費のことについても、DV相談やひとり親の相談時に受けていますが、そういった時に養育費を元夫・元妻からもらえるように相談できる機関もあるので、紹介をしているところです。

(本多委員)

放課後教室も子育て支援の大事な役割を担っているということで、制度ができてかなり年数が経過し、そのあり方は十分周知されておりますが、一層、小学校と放課後教室が連携することが大事かと思います。

別問題で最近話題になったのが、ネット社会のことで、朝欠席する場合に今までだと親から電話連絡等があるので「今日どうされました？」という会話が成立し、そこでも子育て支援が成立していたと感じているのですが、学校への連絡は電話からメールにしてくれないかと言う親がかなりの数いて、実際に子供さんを保育園や幼稚園に預けている職員からは、ネットで全部やっているということを聞きます。朝「何を食べたか」まで入力するというのも言っていました。その子たちが小学生、中学生になった時に、小学校は「電話連絡」というのは時代遅れではないかということで、職員室で話題にしたところです。ネット社会と子育てというのは大きな影響、関係があると思います。話題提供としてですが以上です。

(梅村副会長)

泉こども園の定員について、5歳以上は「30人」とあります。小学校、中学校の定員は40人から35人になるということが閣議決定されています。あわせて、こども園が30人定員になってくるということを見ると、今後、幼稚園も30人定員として手厚い支援をしていく必要があると思います。今後の方向として、30人定員や4歳児が今30人定員のところ27～28人定員にする等、少し変更していただけるとありがたいと思います。

(水野委員)

公立のこども園が3園目になるので、今までの良かったこと、悪かったことを泉こども園建設に生かして、新しい泉こども園ができれば良いと思います。先ほどの駐車場の件で、保育園や幼稚園はどこも駐車場を十分に持っている訳ではなく、駐車場が少ない中で各園が工夫しているので、その工夫を泉こども園にも生かしてもらえたら良いと思います。

(近崎委員)

今は図書館や保健センターでの乳幼児相談、すくすく教室等、子どもと母親向けの講座が新型コロナのため実施できなくなっています。そこに来た母親同士の輪ができる場がなくなってしまう。保健師、栄養士との話はできても、同じ世代の母親同士の相談や子どもに関する相談等を話す場所がない。子育て支援事業計画の冊子で、「母親や子どもへの健康支援」の事業が記載されていますが、親に対しては今年度から「ほやねカフェ」も実施されているのでそこに結びつけることや、保健センターで「大丈夫かな」と思われる親子を子育て支援課につなげるような結びつきがあると良いと思いました。

冊子の「配慮を必要とする子どもや家庭への支援」の部分に記載はないですが、外国人の親子で日本語を話せない家庭の方は、配慮が必要な弱者ではないかと思います。また、L G B Tは世間的にいますので、土岐市の中にもいるのではないかと思います。そういう相談はマイナーなので「相談を受けますよ」と広く受け入れてくれる所がないと相談できないと思います。子育て支援課でも引き受けていただけると良いと思います。

(事務局)

保健センターには今年度から「子育て世代包括支援センター」ができました。この子育て世代包括支援センターというのが、委員がおっしゃったように、妊婦の時期から心配な保護者にアプローチをして、その子が大きくなって園に上がってくる時期に、DVや児童虐待などの事案が起きないように、子育て支援課と連携を取っていこうということで進めています。始まったばかりですので、うまく機能しているかということについて課題もあると思いますが、引き続き保健センターと子育て支援課で、今までも連携は取れていたと思いますが、より綿密に連携していきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

2点目の外国人に関しては、この第2期計画を策定する時にも、委員から意見が出たところ。外国人のお子さんが多いということで、この支援策に具体的に掲げられるかということについては、入れられなかったというのが現状です。なかなか外国人に対する支援というのは行き届かないところもあります。そういった中で、外国人の児童虐待やネグレクトなどの案件を抱えていますので、今後そういったお子さんや家庭に対してどのようにしていくかということについては、子育て支援課の抱える課題とっており、今後の研究課題とさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

(松崎委員)

防災士の東濃地区の会議で、他の防災士の若い方がSNSで情報を発信するというので、それで輪ができて、防災のために必要なグッズはこういうものだという発信等、他の母親に働きかけたら大きな輪になってきたということを知ったので、皆さんスマホを見ている時代なので、ネットを活用することも必要だと思いました。仕事で、色々な施設に行かせていた

だいており、新しいこども園は恵まれていると思いますが、他の園等に行かせてもらおうと、子どもたちがかわいそうだと思うような園もあるので、施設の充実を図っていただけると良いと思いました。例えば、エアコンのついている部屋もありますが、壊れていたり、先生たちが不便ではないかと思うくらいの職員室で、今どきの物を入れてあげたら良いのではないかという感じがします。

(鷺見委員)

今日の次第の 7 番にある市内児童館統廃合について出た妻木児童館については、指定管理を受けて運営しています。市内 6 ある児童館・児童センターのうちの一つが今年度の 3 月 31 日をもって閉館ということで、今後は 5 ヶ所での運営になります。利用者については今年度からですが、妻木児童館の行事は近くのウエルフェアにある西部児童センターで合同での事業実施をしています。現在は、コロナの関係で 1 月から行事が中止状態ですので、自由来館の中での利用しかない状況ではあります。各館において来館した子供から、家や学校でのことで相談を受けることもあって、職員が対応しております。この児童館・児童センターは、市内の保育園・幼稚園、小中学校の先生方にも運営委員となっていていただき運営しているところもありまして、そういった子達についても相談させていただきながら、育成支援をしたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

(小栗委員)

先ほど外国人についての話が出ました。最近、親に電話する機会があったのですが、料金が支払えていないのか、緊急連絡先の父、母ともにつながらず、結局祖母にかけてつながったことがありました。兄弟 2 人で認可外保育所に来ていて、姉が小学校に通い、下に小規模保育所に来ている児がいますが、小規模の児は第 3 子以降なので無料で保育できますが、認可外の 2 人は副食費で月に 5 千円の費用負担が必要のため、1 万円をいただいています。そういう子について、費用面で何とかならないかということを県に相談したら、所得の低い児については、認可外も副食費を県が 1/2、市が 1/2 負担して無料になる「令和 2 年プログラム」を実施しているとのことだったので、そのことを市に問い合わせたら、認可園は実施しているが認可外は今年度の予算がないためやっていないと言われました。来年度の予算が通れば、来年度からと言われ、しかも認可園に入れなかった児が入った場合に適用すると言われました。ただ、市からの紹介で入ってきた児なので、もし、来年度も遡ってできれば良いですが、できないのであれば、ぜひ来年は適用していただきたいと思います。この不景気で母親も派遣の仕事は休みになったりしていて大丈夫なのかと心配しています。そういう外国人の家庭があるということを知っていただきたいと思いました。

(事務局)

補助金につきましては、令和 3 年度予算での予算要求ということはさせていただきました。今後、議会がありますので、そちらの議決次第ということになります。

(加藤委員)

ネットの話が出ましたが、コロナ禍でそのスピードが加速していると感じます。来週は保育園連盟の理事会がウェブ開催となり、Zoom を使って行います。それ以外にも、今年の東濃ブロック研修も Zoom を使って各園ではプロジェクターで投影しながら実施しました。本

多委員の話にもありましたが、当園は ICT 化が済んでおり、保護者からは全てネットを通じて連絡が入っている状態です。保育園の場合は保護者への連絡も先生方に配布してあるパソコンに空いた時間等に入力をして対応していますが、保育園では送迎の時に必ず保護者と顔を合わせて話を聞いたりする接点があるので、保育園・幼稚園では成り立つと思います。これが小学校・中学校では違ってくるので保護者もひとくくりにしないで柔軟に考えていただけると良いと思いました。

今回の議題にもありましたが花園あおぞら保育園の定員が 20 人減っています。昨年度は花園保育園の定員が増えていて変動が激しいですが、職員の確保についてはコロナ禍においても確保を必ずして、希望があれば受け入れをしていきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

(福富委員)

コロナ禍で、昨年来それぞれの現場も大変です。子供たちはくっついて遊びますので、何とか感染が出ないように消毒、手洗い、3 密を守りながら、遊び道具やブロック等の子どもたちが触るものを全部消毒しながら、教員、保育士さんは毎日大変です。子供たちが感染しないように頑張ってやっていただいております、本当に頭が下がる思いであります。私もリーダーとして、教員、保育士さん等の職員をまとめて、子供や保護者の地域のニーズに対応していくことが求められておりますので、子供たちの最大利益を守りながら、地域に開かれたこども園を展開して参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。

(和田委員)

ママ友から聞いた話ですが、土岐市は年長になると保育園から幼稚園に行くというシステムがありますが、親の仕事の関係で幼稚園の時間帯だどうしても仕事に支障が出るから保育園に残ると言われましたが、保育園に残ると、他の皆さんは幼稚園に行くため、年中さんと同じクラスで受けないといけないということなので、仕事の時間を変更して途中からでも幼稚園に転園しようかという話を聞きました。今後も年長さんだけは幼稚園に行くという感じになるのでしょうか。

(事務局)

今の話は、認定こども園を導入することによって解消すると思っております。認定こども園は、一つの園の中に保育園と幼稚園が併存するような形になりますので、一つのクラスの中でも、保育園部のお子さんについては、標準時間のお子さんですと、7 時 30 分から 18 時 30 分までの保育の提供があります。一方、同じ保育室の中でも、幼稚園部に所属しているお子さんについては 2 時半に帰ることになり、また、年度の途中で保護者が勤め出した場合は幼稚園部から保育園部に移行することが可能になります。土岐市としては、保育園、幼稚園の認定こども園化を計画しており、今回の泉こども園については、まさにその足がかりとなるものと思います。市内には「のうなんこども園」、「西部こども園」があります。西部こども園については、元々の下石幼稚園、山神保育園、下石保育園の 3 園を統合して、設置したものです。今後については、残りの泉・肥田・駄知・妻木地区において、順番に認定こども園化し、今おっしゃったような、年齢で移らないといけないということを少しずつ解消していきたいと思っております。

(梅村副会長)

今、幼稚園の段階で、7時半から、19時まで預かり保育を含めると幼稚園で生活ができると思います。

(和田委員)

夏休みや、冬休みなどの長期の休みの時は難しくなる。時間が合わないとのことでした。

(水野委員)

久尻保育園では5歳児が10人くらい残って5歳児のクラスを一つ作ったことがあります。それから、久尻保育園は5歳児のクラスがあるからということで、皆さん残っています。今年は4歳児が30人いますが、19人は保育園に残って、幼稚園には11人ということで、幼稚園に行くというシステムは、最近はお母さんたちが保育園に残れるなら保育園に残りたいということもあり、変わってきていると思います。地区によって違うと思います。

(山田会長)

何年か前にひだ保育園にいた時には5歳児が1人だけいたことがありました。この児は、自分が「お兄ちゃんだ」という顔をして先生の代わりに年中や年少の子たちに先生よりも上手にやっている、というような、そういうたくましい部分もありました。制度の中でやっていただければ良いと思います。

(林委員)

自分も子育て真っただ中で、ここの地域で生まれ育った者ではないので、来たときは言葉も分からないですし、道も分からない。何があるかも分からないため、自分が留学に来たような気分でしたが、子供が生まれたことで、色々なことが分かるようになりました。上の子が初めて保育園に入る時は、どこの保育園に行けば良いか分からず、幼稚園がない、というような状況でしたので、幼稚園に通わなければいけない、となった時は本当に驚きました。私が住んでいた地域では絶対になかったことで、幼稚園に行くことが当たり前で、そのあとに保育園か幼稚園か決めるということはあったのですが。それで、小学校の子と一緒に登校するというのも本当に驚きました。分団で一緒に行かざるを得ないことが不思議だと思っていました。今となってはいい経験になりましたし、その後、下の子の時に、保育園の会長になった時は、どんなことを改善したら良いかということを会長同士で話す等の内容を知ることができましたし、今回、委員になり、こういう会があるということを知ることができました。自分は色々なことを知ることができましたが、何も知らないお母さんはたくさんいると思うので、どんなものがあるのか、どんな施設があるのか等はもう少し伝えていけると良いと思います。

(山田会長)

色々な制度やサービス、冊子、市のホームページ等、たくさんありますがなかなか伝わっていかない。これはやむを得ないが、見てもらえないくらい忙しいと思っているので、続けるしかなく、子育て支援課には努力を続けてもらいたいと思います。皆さんも団体や、関係機関の代表で来ていますので、また戻られたら、幼稚園長会やPTA連合会等の会合で広げていただくと良いと思います。もう1点、こうしてリモートではなく生で集まったという非常に貴重な会ですので、会が終わった後、あまり近づかないようにしないといけません。

が横の連絡等、立ち話で話して情報を交流し合うといいのではないかと思います。以上、まとめさせていただきましたが、最後、事務局よりお願いします。

(事務局)

委員の任期について3年間と伝えていますが、中には年度によって役職を交代される予定の方もいるため、年度替わりで役職を交代される方は新しい方にこの委員をお願いすることになるため引継ぎのお願い。来年度、コロナの影響にもよりますが年2回程度の開催を予定しており、出席をお願いすることになるということを引き継ぎ事項としてお伝えいただきたい。役職の交代がない委員の皆様には、来年度も引き続きお願いします。

以上を持ちまして会議を終了させていただきます。

午後16時45分閉会